

2月の 園便り

「はるのゆき」



2020年 新潟青陵幼稚園 園長 加藤 由美子

雪が降らず、いまだ雪遊びができていない子どもたちなのですが、自然が相手ですから仕方ないですね。冬は冬らしくある方が安心できます。毎年同じように春夏秋冬の季節が来る、これは一年のリズムとしてとても大切なものです。一年、そして一か月、一週間、一日にも、きちんとリズムがあって繰り返されていくことで、人間は安心して生活していけると言われます。幼稚園も一日のリズムが決まっていますので、子どもたちは、次になにをするかが分かって、気持ちが安定します、ですから遊びに没頭・集中することができます。

さて、雪遊びこそできてはいませんが、寒さの中でも子どもたちは生き生きと砂や土や水を使って園庭で遊んでいます。冬の冷たい風も手が赤くなるほどの冷たい水も体験しています…強い風が吹くと、ビニール袋を凧にして走ります、バシッとビニール袋に風が入る手ごたえを感じていることでしょう。また、ダンゴムシもいない、幼虫もいない、草も花も咲いていない園庭で、息をひそめてそっと生きている植物や虫たちの息遣いをも感じていることと思います。寒く冷たく、枯れたかのように感じる園庭も、自然を体験・実感できます、だから青陵の子どもたちは感覚も鋭いのでしょう。子どもは図鑑からでもある程度の知識は得ることができますが、それは体験がないのですから、当然“実感”できないのです。

まだ暖かだった頃、子どもたちはトカゲを捕まえようとしていました。トカゲは足が速くて捕まえられないのです、トカゲを捕まえるために罠を作ろうと考えて、子どもたちは頭をフル回転して創意工夫し、罠を作る、そして罠にかかるまでじっと忍耐して待ちます。そして勘を働かせて、トカゲの気配を感じようとし、もしトカゲの姿を見かけたら、素早く動き、チャンスを逃さないように友だちと役割分担して頑張る、そして、よく言われる言葉ですが“最後まであきらめない”姿が見られます、運よく掴まえることができたあかつきには、飼育ケースに入れて飼おうとします。自分で捕まえたのですから、トカゲに対する想いがとてもとても深くなります。お店で買ってきた、あるいは大人に捕まえてもらったトカゲとは全く違うのです、可愛さ 100 倍、熱意 100 倍といえるほどに・・・

トカゲの家のしつらえに気を配り、餌を心配し調べ、調達しようとする、時には、こんなに心を込めて大切にしてきたトカゲが死んでしまうことにも出会う（命）、こうして実体験した時に得たものは、必ず、子どもたちの心に残り、子どもたちの力となって積み重ねられていきます。それは、トカゲを描いたり、本できちんと調べたりしていきます。実感できる体験は子どもたちにクリエイティブな力を育ててくれます。

2月の予定

日	曜	給食	降園時間	行 事
1	土	/	/	大学入試のためお休みです。
2	日	/	/	
3	月	○	2:00	節分の豆まきを行います。
4	火	○	2:00	
5	水	○	2:00	
6	木	○	2:00	
7	金	○	2:00	
8	土	/	/	第2土曜日
9	日	/	/	
10	月	○	2:00	
11	火	/	/	建国記念日
12	水	○	2:00	
13	木	○	2:00	
14	金	○	2:00	
15	土	×	11:30	自由登園日
16	日	/	/	
17	月	○	2:00	
18	火	○	2:00	子どもたちが、赤ばらさんと白ばらさんの劇を見る日です。
19	水	○	2:00	
20	木	○	2:00	子どもたちが青ばらさんの劇を見る日です。
21	金	○	2:00	
22	土			のばら劇場を行います。詳細は各クラスのお便りをご覧ください。
23	日	/	/	
24	月	○	2:00	
25	火	○	2:00	
26	水	×	11:30	誕生会です、保護者の皆様と一緒に祝いましょう。
27	木	○	2:00	
28	金	○	2:00	
29	土	/	/	第4土曜日振替休日